

建築 CPD 情報提供制度 特別認定講習会
JABMEE CPD認定プログラム

JABMEE
CPD
20

技術者倫理・空調・衛生・電気・防災・法令
建築設備士 総合講習

※ 建築設備士をお持ちでない方、CPDに参加していない方も受講できます。

後 援 国土交通省 (財) 建築技術教育普及センター

協 賛 (社) 空気調和・衛生工学会 (社) 電気設備学会 (社) 日本空調衛生工事業協会
(社) 日本設備設計事務所協会 (社) 日本電設工業協会

テキスト監修 (財) 建築技術教育普及センター

開催日時と会場

札幌	(定員 50 名)	平成 22 年 3 月 5 日 (金)	9:30~17:30
北海道設備会館 (札幌市中央区北 4 条西 19 丁目 1-1)			
仙台	(定員 50 名)	平成 22 年 3 月 2 日 (火)	9:30~17:30
宮城県管工事会館 9 階大会議室 (仙台市青葉区本町 3-5-22)			
東京	(定員 100 名)	平成 22 年 3 月 12 日 (金)	9:30~17:30
コンベンションホール AP 浜松町 (港区芝公園 2-4-1 ダヴィンチ芝パーク B 館)			
名古屋	(定員 50 名)	平成 22 年 2 月 25 日 (木)	9:30~17:30
東桜会館 (名古屋市東区東桜 2-6-30)			
大阪	(定員 80 名)	平成 22 年 2 月 16 日 (火)	9:30~17:30
大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4)			
広島	(定員 50 名)	平成 22 年 2 月 19 日 (金)	9:30~17:30
鯉城会館 5 階ホール (広島市中区大手町 1-5-3)			
福岡	(定員 50 名)	平成 22 年 2 月 26 日 (金)	9:30~17:30
福岡商工会議所ビル 3 階 303 号室 (福岡市博多区博多駅前 2-9-28)			
沖縄	(定員 50 名)	平成 22 年 2 月 10 日 (水)	9:30~17:30
オール電化ショールームカエルびあ (おきでん那覇ビル 2 階) (那覇市旭町 114-4)			

※ 協会ホームページ <http://www.jabmee.or.jp> でもお知らせしております。

主 催 社団法人 建築設備技術者協会

講習内容について

建築物における建築設備のウエートが高まり、建築設備士の役割がますます大きくなりつつあり、常に新しい知識を幅広く修得しておくことが極めて重要であります。そこで、当協会では、従来の更新講習の意義を継承し、建築設備士として必要不可欠な内容を盛り込んだ総合講習を実施することとなりました。講義では、空調・衛生・電気・防災の各分野における、それぞれの新技術の動向とその導入事例、また、最近、制定、改正された建築設備関係法規、建築設備に関する事故例とその対策等について解説します。

なお、本講習会は、当協会が実施する JABMEE CPD（継続職能開発）制度「建築設備士の専門領域認定コース」の必須プログラムとして位置づけられ、受講者には 20 単位（講義 13 単位、レポート 7 単位）が与えられます。

プログラム（プログラム内容・時間等は、事情により変更することがあります。）

時 間	プログラム名・講義概要	
9:30～9:50 (講義時間:20分)	技術者倫理 主催者挨拶と技術者の倫理について	企業倫理と技術者倫理。技術者倫理の概要、歴史と背景について。建築設備技術者協会の倫理綱領の紹介。技術者が目指す倫理とは。
9:50～10:40 (講義時間:50分)	建築設備共通事項 総論・建築設備共通事項の新技術と事例	講習の概要、および建築設備に関する国内外の環境性能評価指標の概要と特徴、最近の維持管理の動向およびそれぞれの事例
10:50～12:40 (講義時間:110分)	空調・衛生設備 空調・衛生設備の新技術と事例	環境配慮型空調設備の設計手法と先端設計技術、給排水衛生設備における安全・衛生性の確保の重要性と最新の計画、それぞれの事例
13:40～15:20 (講義時間:100分)	電気・防災設備 電気・防災設備の新技術と事例	環境負荷削減を考慮した電気設備および防災設備、電気設備の信頼性、押出排煙の解説、およびそれぞれの事例
15:30～17:00 (講義時間:90分)	建築設備関連法規 改正法規と事故例	建築設備士に必要な建築基準法、消防法などの最近の改正法令・告示・通達内容および空調、衛生、昇降機、建築防災に関する事故事例
17:00～17:30	レポート作成 ※レポートを提出いただくことで、CPD 単位が7単位加算されます。 400～1000 字程度 テーマは当日発表いたします。	

お申込書は次頁

テキスト (Ver.4) 内容 ※Ver.4では、建物事例集が追加されました。技術者倫理の資料は別冊資料となります。

建築設備共通事項	建築設備と環境保全	建築設備の維持管理
空気調和設備	環境配慮型設計	先端設計技術
給排水衛生設備	給排水衛生設備における安全性・衛生性の維持と事故例	集合住宅における給排水衛生設備のリニューアル
電気設備	電気設備と環境負荷削減対策	電気設備の信頼性・安全性
防災設備	建築基準法における特殊な構造の排煙設備について	環境配慮型消火設備
建築設備関連法規	建築設備関係法令の改正事項及び告示・通達等	建築設備に関する事故例とその対策
建物事例集	ニッセイ新大阪ビル マチモーター本社棟 大成札幌ビル エプソンイノベーションセンター 日産先進技術開発センター 新丸ノ内ビルディング 関電ビルディング 竹中工務店東京本店 赤坂五丁目再開発赤坂サカス	

講師

会場	分野	講師名	所属
札幌	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	里中 雅幸 魚住 昌広 魚住 昌広 只野 都啓 竹内 信行	(株)興北煉瓦工業所 北海道工業大学 (前掲) (株)久米設計 北海道 札幌支社 支社長代理 建設部 住宅局 建築指導課 主査
		黒澤 正志 内海 康雄 石川 善美 須藤 諭 神村 正征	日新設備(株) 宮城工業高等専門学校 東北工業大学 東北文化学園大学 古川電気工業(株)
仙台	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	牧村 功 川瀬 貴晴 白鳥 泰宏 横山 正博 平山 信雄	(株)日建設 千葉大学大学院 (株)竹中工務店 (株)日建設 SGS ジャパン(株)
		志賀 正紀 馬瀬 英成 中塚 政道 鈴木 大介 大西 稔	志賀建築設備設計事務所 (株)BS 冷熱設計 高砂熱学工業(株) (株)トーエネック 愛知県 所長 / (社)建築設備技術者協会 中部支部長 代表取締役 名古屋支店カブリサイエンス部 担当部長 営業本部 営業統括部技術総括グループ 担当部長 建設部建築担当局建築指導課建築指導グループ 主査
東京	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	志賀 正紀 馬瀬 英成 中塚 政道 鈴木 大介 大西 稔	顧問 / (社)建築設備技術者協会 会長 工学研究科 教授 東京本店設計部 副部長 設備担当 監理部門副代表・監理部長
		志賀 正紀 馬瀬 英成 中塚 政道 鈴木 大介 大西 稔	執行役員 技術本部副本部長
名古屋	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	弓崎 幸治 芳村 恵司 平岡 秀明 福田 純治 本田 宣仁	(株)東畑建築事務所 京都精華大学 三機工業(株) (株)メックス(元(株)きんでん) (株)三晃空調
		佐藤 大三 篠原 道正 柳原 隆司 中川日出夫 兼原 浩樹 上田 数幸	(株)佐藤設備設計工務所 広島工業大学 (株)不二ビルサービス 日比谷総合設備(株) 広島県 広島支店 営業部 担当部長 都市局建築課 構造審査グループ 主査 総務局財務部営繕課 設備工事室長
大阪	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	(株)九電工 久留米工業大学 九州産業大学 (株)九電工 福岡県 営業本部電気設計部 部長 / (社)建築設備技術者協会 九州支部副支部長 工学部 建築・設備工学科 教授 工学部 建築学科 教授 営業本部 電気設計部 設計第一グループ長 建築都市部 建築指導課 技術主査
		玉城啓一郎 崎浜 猛 金城 克也 宮良 洋三 内間 直人	沖縄県 沖縄県 沖縄県 沖縄県設備設計事務所協会/カイ設備 沖縄県 土木建築部 施設建築課 設備事業監 土木建築部 施設建築課 主幹 土木建築部 施設建築課 主任技師 会長/代表取締役 土木建築部 建築指導課 指導班長
広島	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	代表 / (社)建築設備技術者協会 中国・四国支部長 名誉教授 顧問 広島支店 営業部 担当部長
		柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	
福岡	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	
		柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	
沖縄	倫理 共通 空調・衛生 電気・防災 法規	柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	
		柴田 典顕 池鯉鮒 悟 北山 広樹 三宅 秀信 脇島 剛	

JABMEE は、建築CPD情報提供制度に参加しています。

建築CPD情報提供制度とは・・・

建築 CPD 情報提供制度とは、建築士・建築設備士の研修としてふさわしい講習会等をあらかじめ認定し、その情報を公開するとともに、本制度参加登録者が認定講習会等に出席した記録を統合的に管理し、必要に応じて、その実績を証明する制度です。

国および都道府県において、活用事例があります。

(活用状況はの最新情報は、(財)建築技術教育普及センターホームページ <http://www.jaeic.or.jp/kenchikucpd.htm> をご参照ください。)

下記に必要事項をご記入、振込金受領証を所定欄に貼付の上、FAXにてお申し込みください。

受講料 21,500円 (テキスト代および消費税を含む)

申込方法 1) 郵便振替の場合： 下記の指定の郵便局口座へ受講料を振込み後、次頁の申込書に必要事項
 をご記入、払込票兼受領証を所定欄に貼付の上、FAX(03-5408-0074)
 にてお申し込みください。

口座名：社団法人 建築設備技術者協会
振替口座：00160-7-417427

2) 銀行振込の場合： 下記の銀行口座に振込後、次頁の申込書に必要事項をご記入、振込金受
 領証（銀行発行）を所定欄に貼付の上、FAX（03-5408-0074）にて
 お申し込みください。

口座名：社団法人 建築設備技術者協会 三菱東京UFJ銀行 田町支店
普通口座 0334357

申込先 (社)建築設備技術者協会 電話 03-5408-0063 FAX 03-5408-0074
 〒105-0004 東京都港区新橋 6-9-6 12 東洋海事ビル

「建築設備士 総合講習」申込書 **FAX：03-5408-0074**

フリガナ				CPD 会員 番号 (JABMEE CPD 会員の方)	9000 -
氏 名				建築設備士登録番号 (登録者の方)	-
勤務先					
所 属					
所在地	〒 -				
電 話	() -	FAX	() -		
メ - ル					
会 場	() 会場 ・ 平成 年 月 日 開催				(協会記入欄)

振込受領証 (本人控え) 貼 付 欄

- 受講券の送付** (1) 申込書を受け取り次第、受講券等を受講者宛てに FAX にてお送りいたします。ただし、FAX がない場合は、申込書の所在地宛てに郵送いたします。
 (2) 当日必ず受付に受講券をご提出ください。
- 注 意 事 項** (1) 受講料の返金は一切いたしませんので、ご注意の上お申し込みください。
 (2) 受講券は申込受付次第 FAX にてお送りいたしますが、開催日の一週間前になっても受講票が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

本申込用紙は、協会ホームページ (<http://www.jabmee.or.jp>) からでもダウンロードできます。